

名家連ニュース

令和7年11月6日(木)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX(052)846-5576 NO.1067号

第35回 名古屋市精神障害者家族交流事業

「晴れときどき虹」ご報告

令和7年10月26日(日)、小雨の中、吹上ホールにて「晴れときどき虹」が開催されました。講演会に先立ち、ケルト音楽デュオのコトリネに演奏いただきました。心に響く幻想的な調べが、会場の雰囲気を和らげました。次に主催者の名家連の池山会長お



よび名古屋市健康福祉局の中島課長より挨拶がありました。池山会長や中島課長の言葉にあるように、地域で精神疾患や発達障害等への理解が深まり、障害の有無によらずお互いを尊重し合う共生社会が実現に近づくように、私達も市民の皆様も共に歩みを進めていきましょう。

今年度の講演会は、「発達障害とニューロダイバーシティ」と題し、おとなの発達障害について、名古屋市内の平安通クリニック大村豊院長よりお話をうかがいました。平安通クリニックは2020年に開院した、青年期および成人期の神経発達症クリニックです。

今回の講演の参加者は計195名、うち家族会関係者が46名、一般参加者が149名でした。近年の「晴れときどき虹」では、一般の参加者が増加しています。特に今回は、大人の発達障害について一般の方、支援者、当事者の方々の関心の高さがわかる数字となりました。

大村先生は、まず主な三つの発達障害＝自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如多動症(ADHD)、学習の障害(SLD)について、それぞれを分かりやすく説明されました。さらに、その診断の歴史において、支援という観点からスペクトラムという概念が登場したことを挙げられました。また先生のクリニックでの発達障害の診断、専門プログラムの実施、デイケア・ナイトケア、家族支援等、多岐にわたる丁寧な治療・ケアをご紹介いただきました。今回の講演会のアンケートでも、先生のお話が分かりやすかった、治療プログラムがあると知ってよかった、等の回答が多数ありました。中でも「ニューロダイバーシティ＝多様性」について学んだ、あるいは発達障害が病気ではなく、左利きといった「特性」に近い事を知って考えが変わった、という感想が印象的でした。先生は映画のレインマン、Mr.ビーン、アメリの映像を挿入されましたが、発達障害の当事者の言動がよく分かったと、これも好評でした。

名家連は今後もみなさまのご意見を伺い、より良い講演会を企画していきたいと思っております。次年度からもどうぞよろしくお願いいたします。(文責：福光)